

第2回「度島まちづくり塾」の様子

①まちあるき（その1）



今回は、「まちあるき」を行いました。早朝だった事もあり気合いを入れるために、スタートする前にみんなで円陣を組みました。盆ごうれいが終わったばかりなので、「イヤソコジャイ！」のかけ声で気合いを入れて出発しました。

今回のテーマを「探したそう・見つけ出そう」たくしまの“お宝”と“課題”と設定し、自分たちのまち（島）の未来に向けての取り組みや改善点の、まちの種（島の種）を見つけました。

生徒達は、3班に分かれて、それぞれ、浦地区、中部地区、三免地区を探検しました。

普段通りなれているところでも、改めて「何だろう？」「どうしてだろう？」と好奇心をもって歩いてみると、新たな発見や度島のお宝など見つけていました。

途中、島民さんと出会ったら「この稲の名前は何か？」「ここの神社は何の神様ですか？」など、積極的に訪ねていました。

②まちあるき（その2）



③ワークショップ（その1）



ワークショップでは、まちあるきの際に「発見係」「メモ係」「写真係」それぞれ仕事を分担して、探し出したお宝と課題を書き出しました。

模造紙に度島の地図を貼り、自分たちが歩いたコースたどって、「そういえばこういうのもあったね」「赤いやつなんやったけ？」など思い出しながら書き出して、各班それぞれ、約30項目の発見をしていました。

③ワークショップ（その2）

ワークショップでまとめたものを、各班発表してもらいました。

出されたお宝には、「24時間営業の無人販売所」や「きれいな石積みの塀」、「ハート型の切り株」、「丸島でアスレチック」などが出ました。

また、課題として、「昔は畑だったところが、荒れ地になっている」や「取れたての海の幸を食べるところ（施設）がない」、「カーブミラーがツルまみれで見えなくなっている」など、たくさんの意見が出されました。



④まとめ



今回のたくしま塾は「まちあるき」でしたが、あいにくの天候で、行程通り行かなかった部分もありました。しかし、子供達のやる気と、先生方のフォローもあり、まとめから、発表まで出来ました。

他にも、「たくしまクイズ」を作ったりと、とても充実した内容でした。

最後に、各班を代表して、感想を述べてもらいましたが、「将来、僕たちが大人になったときに、度島はこんなに良いところですよと、自慢できるようにしたい。」と、度島の可能的将来が見えてきました。